

第4学年社会科学習指導案

日 時 令和3年12月15日(水) 5校時

第5校時 13:45~14:30

対 象 第4学年2組 32名

会 場 4階 4年2組教室

授業者 遠藤 紗希

1 単元名 自然災害から人々を守る

2 小単元名 「水害からくらしを守る」

3 小単元の目標

自然災害から人々を守る活動について、過去に発生した自然災害や関連機関の協力などに着目して調べ、災害から人々を守る活動やその働きを考え、表現することを通して、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解できるようにする。また、地域と自分の生活を結びつけて学習問題を追及・解決し、学習したことをもとに地域社会の一員として自然災害から自身の安全を守り、自然災害の備えに取り組もうとする態度を養う。

4 小単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ主体的に学習に取り組む態度
①過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して地図や年表など資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、自然災害から人々を守る活動を理解している。 ②地図や年表などの資料で調べ、年表や文などにまとめ、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解している。	①過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して問いを見出し、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現している。 ②自然災害が発生した際の被害状況と災害から人々を守る活動と関連付けて、それらの働きを考えたり、地域に起こり得る災害を想定し、自分たちにできることを選択・判断したりして、適切に表現している。	①自然災害から人々を守る活動について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に、自然災害から自身の安全を守ることや、自然災害の備えへの関わり方、自分たちに何ができるかを考えようとしている。

5 小単元の指導計画（全 12 時間）

次	時	ねらい	○主な学習活動 ・児童の反応	☆評価（評価方法）※資料
第一 次 つ か む	1	過去に日本で起こった自然災害について知り、自然災害に対し、関心をもつ。	<p>【課題の設定】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> どのような自然災害があるのだろうか。 </div> <p>【情報の収集】</p> <p>○過去に起きた自然災害について動画から知る。（台風、豪雨、豪雪、洪水、土砂災害、地震、津波、火山災害）</p> <p>【整理・分析】</p> <p>○実際に起きた時、どのような取り組みが行われているだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自衛隊の人や消防士の人たちが救助に来ると思う。 ・避難所で生活できるように地域の人たちが協力していると思う。 <p>【まとめ・表現】</p> <p>○自然災害を知って、思ったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近に感じていなかったけど、すごく恐ろしいものだと思った。 ・本当にこんなことが起こったら、どうしたらいいのだろうか。 <p>【次時の課題設定】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 私たちの住んでいる東京都では、どのような自然災害が起きているのだろうか。 </div>	※2011 年東日本大震災の様子 ※2015 年関東・東北豪雨の様子 ※2016 年熊本豪雨の様子 ※2014 年御嶽山噴火の様子 ※2019 年千葉県台風 15 号の様子 ☆ア-①（ノート・行動観察）
	2	過去に東京で起こった自然災害について、土地の様子と結びつけて考える。	<p>【課題の設定】</p> <p>○前時の振り返りを行い、学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 私たちの住んでいる東京都では、どのような自然災害が起きているのだろうか。 </div> <p>【情報の収集】</p> <p>○地図帳や模型資料から土地の様子について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葛飾区は近くに荒川がある。 ・八王子市は山地にあり、土地が高いところに 	※1947 年葛飾での水害の様子 ※2008 年八王子での土砂災害の様子 ※2005 年杉並区での水害の様子 ※2013 年練馬区での大雪の様子 ※1923 年中央区、銀座での地震の様子 ※2000 年三宅島での噴火の様子

		<p>ある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三宅島には山がある。 ・狛江市は近くに多摩川が流れている。 <p>【整理・分析】</p> <p>○土地の特徴から結びつけて、起きそうな自然災害について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葛飾区は近くに荒川があるから、水害が起きると思う。 ・八王子市は山地のため、土砂災害が起きやすいと思う。等 <p>【まとめ・表現】</p> <p>○本時の学習をまとめる。</p> <p>【次時の課題設定】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>私たちが住んでいる墨田区では、どのような自然災害が起きているのだろうか。</p> </div>	<p>様子</p> <p>※1974年多摩川での水害の様子</p> <p>※「わたしたちの東京都」p.47資料</p> <p>☆ア-①(ノート・行動観察)</p>
3	<p>墨田区の水害について、水害が起きる原因について知る。</p>	<p>【課題の設定】</p> <p>○前時の振り返りを行い、本時の学習課題について確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>私たちが住んでいる墨田区では、どのような自然災害が起きているのだろうか。</p> </div> <p>【情報の収集】【整理・分析】</p> <p>○資料から墨田区で起こりやすい自然災害について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海拔が低いから大雨が降ったら浸水する可能性があると思う。 ・理科「雨水の行方」で学習したように、水は高いところから低いところへと流れるから墨田区は土地が低いから水害が起きると思う。 <p>〈墨田区で水害が起きる原因〉</p> <p>土地が低い。昔は海で、埋め立てているから土地の状態が良くない。</p> <p>【まとめ・表現】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>墨田区では、土地が海面よりも低く、水が下に流れていかないため洪水などの水害が起きやすい。</p> </div>	<p>※学校の前にある海拔を示す写真</p> <p>※墨田区の地形の資料</p> <p>☆イ-②(ノート・行動観察)</p>

	4 本 時	<p>どのようにすれば被害を減らすことができるかについて考える。</p>	<p>○資料から墨田区の被害の大きさについて知る。</p> <p>○資料からなぜ被害が減少しているか考え、誰が、どのような取り組みをしているか考える。</p> <p>【課題設定】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>水害の被害を減らすために、どのような取り組みをしたのか考えよう。</p> </div> <p>【情報収集】【整理・分析】</p> <p>○既習事項や資料を基に、取り組みについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堤防を高くする。 ・建物自体を高くした。 ・雨が多く降る場所が分かる地図を作って、避難する場所を示す。 ・あらかじめ川の水が増えていることを伝える。 <p>【まとめ・整理】</p> <p>○本時の学習をまとめる。</p> <p>【次時の課題設定】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【学習問題】 水害からわたしたちの暮らしを守るために、だれがどのような取り組みをしているのだろうか。</p> </div>	<p>※明治47年の水害の写真</p> <p>※墨田区の今まで起きた水害の被害件数の資料</p> <p>※①「東京都の大雨の回数」と②「東京都の浸水被害を受けた建物の数」を表した2つのグラフ</p> <p>※スーパー堤防の写真</p> <p>※水門の写真</p> <p>※地下調節池の写真</p> <p>※河道整備の写真</p> <p>※貯水池の写真</p> <p>※ポンプ場の写真</p> <p>※ハザードマップ</p> <p>☆イ-①(ノート・行動観察)</p>
第 二 次 調 べ る	5 ・ 6 ・ 7	<p>墨田区は水害を防ぐために、どのような取り組みをしているのか調べる。</p>	<p>【課題の設定】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【学習問題】 水害からわたしたちの暮らしを守るために、だれがどのような取り組みをしているのだろうか。</p> </div> <p>【情報の収集】</p> <p>○どのような取り組みをしているのか調べる。</p> <p>〈被害を小さくするための取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップを作る。 ・避難所の準備。 ・水防訓練。 	<p>※インターネット</p> <p>※教科書</p> <p>※本</p> <p>※新聞</p> <p>☆ウ-①(ノート・行動観察)</p> <p>☆ア-①(ノート・行動観察)</p>

		<p>〈水害を防ぐための取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の水の量を調べる。 ・川を整備する。 ・水の量を調節する。 <p>〈自分や地域を守るための取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練。 ・水害に対しての情報を集める。 ・防災グッズを準備する。等 		
	8 ・ 9	<p>【情報収集】【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○それぞれが調べたことを班で共有し、話し合う。 ○国や都、区、地域の取り組みの関連について考える。 <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全体で共有する。 	☆イ-①（ノート・行動観察）	
第三次 まとめ	10 ・ 11	<p>水害に備え、誰が、どのような取り組みを行っているのか関連図にまとめる。</p>	<p>【課題の設定】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">調べたことを関連図にまとめよう。</div> <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前時で集めた情報をもとに、水害に備え、東京都や国、区、地域がどのような役割を担っているのかを関係付けて関連図にまとめる。 ・国、東京都、区、地域が連携して水害からくらしを守っていた。 ・国や東京都は、水害を防ぐために施設や設備をつくっていた。 ・区は、ハザードマップを作ったり、避難を呼びかけたりしていた。 ・防災アプリを使うと自分でも対策を取ることができることが分かった。 ・地域は日頃から水害備え、訓練をしていた。 ・東京都や地域が連携して訓練を行っていた。 	☆ア-②（ノート・行動観察） ☆イ-②（ワークシート）
	12	<p>自分が水害を防ぐためにできることを考え、まとめる。</p>	<p>【課題の設定】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">一人一人が水害を防ぐために、できることを考えよう。</div> <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水害に対して、自分ができることを話し合 	☆ウ-②（ノート・行動観察）

			<p>う。</p> <ul style="list-style-type: none">・自分たちの地域に起こる被害を知っておくことが大切だと思う。・避難所を確認するなど、普段の備えが大切だと思う。・私も、訓練に参加したいと思った。	
--	--	--	--	--

6 研究主題に迫るための手立て

【研究主題】

授業における学習過程の研究

～シンキング・サイクルの活用による「見方・考え方」の習得～

〈目指す児童像〉

課題を解決する過程やまとめる段階で生じた疑問から、新たな課題を見出すことができる児童

(1) シンキング・サイクルの捉え方

本単元でのシンキング・サイクルは、以下のような活動を考えている。これらが毎時間の授業の中で、繰り返し行われるように学習計画を立てた。

「課題の設定」

- ・本時でわかったことや思ったことを学習のふりかえりとして書く活動の中で、疑問に思ったことやさらに知りたいと思ったことを取り上げ、そこから次の学習課題を設定する。

「情報の収集」

- ・学習の終末に次の課題を設定することで、家の人に聞いたり、本やインターネットで調べたりして、次時までの情報収集を可能にする。
- ・自分が集めた情報と友達が集めた情報を共有することで、情報量を豊富にするとともに、情報の整理・分析のきっかけを与える。

「整理・分析」

- ・個人で調べた後、グループで情報を共有することで、新たな情報を得ながら情報を整理・分析し、それぞれの情報の関連性に気付く。

「まとめ・表現」

- ・調べたことをまとめるだけでなく、そこからどんなことがわかるのかを考える活動を重視したまとめや表現をする。
- ・区や都、地域の人々の取り組みを理解し、相互関係に着目した関連図にまとめる。

(2) 児童の実態

本児童は、これまでの学習で社会科では「水はどこから」「とどけよう～玉川兄弟と玉川上水の開発～」、理科では「雨水のゆくえ」について学習しており、水に対する関心が高まっている。本小単元では、今まで学習してきた水に対する理解を教科横断的に取り入れながら、私たちの生活に欠かせない水が、時には人の命をも脅かす災害につながり、私たちの生活にも影響するということを資料の読み取りから気付かせたい。資料の読み取りに関して、全体での読み取りはできていても、そこから自分の考えをもつことを苦手としている児童が見受けられる。丁寧な資料の読み取りができるようにするためにも、導入で災害の種類や実際の被害の大きさを知ること、課題意識をもたせてより「資料を読みたい。」という気持ちをもたせ、主体的に問題解決しようとする力を育てたい。

本実践を行うにあたって、対象となる学級の児童に下記の実態調査を行った。(対象児童：32名、アンケート実施日11月26日)

①社会科の学習は好きですか。	
とても好き	3人
少し好き	8人
あまり好きではない	11人
まったく好きではない	9人
②社会科の学習でどのような活動が好きですか。(複数回答あり)	
グラフや図などの資料を読み取る。	7人
自分の考えを発表する。	3人
友達の考えを聞く。	8人
友達と話し合う。	10人
学習課題を見付ける。	3人
学習課題について調べる。	5人
調べたことをまとめる。	10人
都道府県について調べる。リーフレットを作る。	21人
その他	
自然災害にはどのようなものがあるか知っていますか。	
○津波	○豪雨(ゲリラなど)
○台風	○雪、雪崩
○地震	○竜巻
○死者が出る、病院がこむ	○大雨
○火山噴火	○猛暑災害
○洪水	○豪雪災害
○土砂災害	○隕石落下
○異常気象	○水没
自然災害はどのようにして起きるのか知っていますか。	
よく知っている。	3人
少し知っている。	15人
あまり知らない。	8人
まったく知らない。	3人
実際に自然災害が起きたときどうしますか。	
<ul style="list-style-type: none"> ・津波の時は、高いところへ行く。 屋上へ避難する。(学校の場合) 高いところへ行く。 ・台風の時は、風が強いから外に出ない。室内にいる。 	

- ・地震の時は、身を守る行動をとる。机の下に隠れる。高いところへ行く。
おかしもをする。おかしもを守り、いつもより素早く行動する。
- ・火事の時は、ハンカチで口を押さえる。避難所に避難する。すぐに避難する。
- ・分からない。(3人)

アンケートの結果から自然災害について、大まかな内容は知っている児童もいるが、具体的にどのように起こるのか、またどのような身の守り方があるのかあまり関心がないことが分かる。また、これまでの学習で都道府県について調べてきたこともあり、自分の住んでいる地域だけでなく、全国各地について興味関心をもっている児童も多くいることが分かる。このことから、本小単元では墨田区の水害だけでなく、日本で起こっている自然災害から東京都、墨田区へと大きな事象から自分たちの住んでいる地域へとつなげることで、より児童が主体的に課題解決できるようにしていきたい。

(3) 教科の「見方・考え方」

第4学年の社会科における見方のポイントは次のようになる。

- 位置や空間的な広がり の視点
- 時期や時間の経過 の視点
- 事象や人々の相互関係 の視点
- 比較・分類、統合
- 地域の人々や国民の生活との関連付け

上記のポイントを踏まえて、次のような考え方を学ばせることが必要となる。

- 場所による違いについて考える
- 関係機関による取り組みの違いについて考える
- 相互の関係について考える
- 時代による違いについて考える
- 地域・自分との関わりについて考える

(4) 単元について

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年度）解説社会科編第4学年の内容を受けて設定した。

- (3) 自然災害から人々を守る活動について、学習の問題を追及・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
- (ア) 地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。
- (イ) 聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、まとめること。
- イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
- (ア) 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現すること。

本小単元は、内容(3)「自然災害から人々を守る活動」に関わる内容である。内容の取り扱いでは、地震災害、津波災害、風水害、火山災害、雪害などの中から、過去に都内で発生したものを取り上げることとしている。本小単元では、「水害」について取り上げる。

(5) 教材について

東京都では、過去に様々な自然災害が発生し、特に川の付近では水害も発生している。近年はゲリラ豪雨など突然の雨が降ることも多くなり、水害の危険性も高まっている。墨田区は、面積の半分ほどが0メートル地帯であり、東京都の中でも土地の低い地域である。東を荒川、西を隅田川に囲まれ、水害の危険性も高い。過去には、荒川や隅田川が氾濫し、生活に影響を及ぼす被害も出ている。大雨や台風の影響が各地で発生する中で、周辺の区が連携して対策を協議するなど、水害の被害を減らす取り組みは、墨田区の大きな課題の一つである。

水害から暮らしを守る工夫が連携して行われていることを学び、さらに墨田区についても調べていくことにより、自分たちのこととして水害を捉え考えていく力を育成していきたい。

①地域を活用した教材

これまでに墨田区を流れる荒川や隅田川が過去に氾濫し、大きな被害を受けている。将来的にも荒川が氾濫した場合には大きい被害が出るということは、ハザードマップからも分かることである。また、墨田区では水害に備え、様々な対策を行っている。そのような地域で暮らしていることを自覚するとともに、生活に結び付けて考えることで、取り組みたい学習につながると考えた。

②体験的な教材の活用

本小単元では、墨田区の水害への取り組みを扱う際に、「防災アプリ」を活用する。「防災アプリ」は、児童のタブレット端末で見ることができ、いつでも活用できるようになっている。「防災アプリ」では、ハザードマップや避難所の場所を調べることができたり、日頃の備えも知ることができたりする。

このアプリで、墨田区の取り組みを調べることによって、自分の地域が水害によってどのような被害が出るのかを想定することができる。また、水害が発生した際、区民が必要としている情報を区が提供していることを体感して学習することができると思った。

(6) 手立て

①資料の工夫

- ・過去に発生した地域の自然災害に着目するために、当時の写真や動画を資料として提示する。どのような自然災害が発生し、どのような被害をもたらしたか理解し、自然災害の大変さを感じ取りながら考えさせる。
- ・それぞれの災害と地形を関連付けて、なぜそのような災害が起きるのかを想像するために、地図帳や立体模型地図を活用して調べる。
- ・自然災害に対し、被害を減らすために関係機関や人々はどのような取り組みをしているのか考える際、自分の考えをもつ手助けとなるように写真や資料の提示をする。
- ・グラフから読み取る内容やねらいに合わせ、グラフの提示の仕方や順序を工夫する。
- ・自然災害に関する本を学級に置き、調べ学習にも活用できるようにする。

②対話的な学習の工夫

- ・毎時間、個人で調べたり考えたりした後に、グループで交流する学習活動を取り入れることで、自分では気付かないような多様な視点に気付くことができ、社会的事象の特色や意味などを多角的に考えられるようにする。また、調べた情報の整理・分析をしながら、それぞれの関連性に気付かせる。
- ・グループでの交流を通して、気付きや疑問から新たな学習課題をもつ。

③学習課題の設定

- ・毎時間の授業の終末にまとめ・ふりかえりの時間を設け、本時の学習で得た知識や技能を相互に関連付け、より知識を深め、次の学習課題へとつなげていく。

④既習事項の想起

- ・学習問題に対し、他の単元や教科において学習したことを生かし、根拠をもって考えられるような問いの工夫をする。

7 単元の構造

【主題】 水害からくらしを守る（全12時間）

・日本にはどのような自然災害があるのだろうか。（1時間）

↓

・東京都では、どのような自然災害が起きているのだろうか。（1時間）

↓

・墨田区では、どのような自然災害が起きているのだろうか。（1時間）

↓

水害の被害を減らすために、どのような取り組みがされているのだろうか。（1時間）

↓

・墨田区は水害を防ぐために、誰が、どのような取り組みをしているのか調べよう。（3時間）

↓

・それぞれの取り組みの関係について考えよう。（2時間）

↓

・調べたことを関連図にまとめよう。（2時間）

・一人一人が水害を防ぐためにできることを考えよう。（1時間）

8 本時の指導（4時間目／全12時間）

（1）本時の目標

水害の被害が減少していることを知り、被害を減少させる取り組みについて考え、表現する。

（2）授業の観点

①教科の視点

- ・提示している資料が効果的であったか。
- ・発問や資料の提示の仕方は児童が社会科の見方・考え方を働かせるのに効果的であったか。

②シンキング・サイクルの視点

- ・既習事項を生かして、原因や取り組みについて考えることができていたか。
- ・資料から自分の考えをもち、表現することができたか。

（3）本時の展開

時間	○学習内容・学習活動	◇指導上の留意点 ・配慮事項 ※資料	■評価【観点】（評価方法）
導入 10分	○前時の振り返りを行い、墨田区では水害が起きやすいことを確認する。 ○墨田区で水害の被害が起きたときの様子を想像する。	※明治47年の水害の写真 ◇実際の被害の様子が分かる資料を提示する。	
展開 28分	○「東京都の大雨の回数」と「東京都の浸水被害を受けた建物の数」を表した2つのグラフを比較し、分かることを話し合う。 T ①のグラフから大雨の回数の変化について、どのようなことに気付きますか。 C 大雨の回数は増えたり、減ったりしている。 T ②のグラフから浸水被害を受けた建物の数の変化について、どのようなことに気付きますか。 C 浸水被害を受けた建物の数が減少している。 T 2つのグラフを比べて、疑問に思ったことはありますか。 C 大雨は降るのに、どうして被害が減っているのだろう。	※墨田区の今まで起きた水害の被害件数の資料 ※①「東京都の大雨の回数」と②「東京都の浸水被害を受けた建物の数」を表した2つのグラフ ◇2つのグラフを比較させ、大雨の発生回数は多いが、浸水被害は年々減少傾向であることに気付かせる。（時間の経過）	

<p>C 何か取り組みをしているからだ と思う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">整理・分析</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">課題の設定</div> <p>○本時の課題について知る。</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">水害の被害を減らすために、どのような取り組みをしたのか考えよう。</div>		
<p>○どのような取り組みをしている のか考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で取り組みを考える。 ・資料をもとに、班で話し合う。 ・話し合ったことから、自分の考え をノートにまとめる。 <p>C 建物自体を高くしたと思う。</p> <p>C 堤防を高くしたと思う。</p> <p>C 安全な場所と危険な場所が分か る地図を作っていると思う。</p> <p>C あらかじめ川の水が増えている ことを伝えるものがあると思う。</p> <p>C 水が溢れないように貯めておく 場所を作っていると思う。</p> <p>C 川の幅を広げて、水を多く流せ るようにしていると思う。</p> <p>C 川を深く掘って、水を多く流せ るようにしていると思う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">情報の収集</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">整理・分析</div>	<p>◇前時で行った葛飾区の土地 の様子にも着目させる。</p> <p>◇取り組みの様子の写真を用 意し、児童の考えを促す。</p> <p>※スーパー堤防の写真</p> <p>※水門の写真</p> <p>※地下調節池の写真</p> <p>※河道整備の写真</p> <p>※貯水池の写真</p> <p>※ポンプ場の写真</p> <p>※ハザードマップ</p>	<p>■被害の減少から、減少 させた取り組みについ て予想し、自分の考え を表現することができる。【イ-①】(ノート・ 行動観察)</p>
<p>ま と め 7 分</p> <p>○本時の学習をまとめ、次時の課題 を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">まとめ・表現</div>	<p>◇水害の被害を減らすために、 関係機関が様々な組み を行っていることを押さえ、 次時の学習課題への見通し もたせる。</p>	
<p>水害からわたしたちの暮らしを守るために、だれがどのような取り組みをしているのだろうか。</p>		

9 板書計画

水害の被害を減らすために、どのような取り組みをしたのか考えよう。

グラフ①

グラフ②

- ・大雨の回数はあまり変わっていない。
- ・浸水被害を受けた建物の数が減ってきている。

資料

資料

資料

資料

被害の減少から考えられる取り組み

- ・ 建物を強化する。
- ・ 建物を高くする。
- ・ 堤防を高くする。
- ・ 水をためる場所を作る。
- ・ 川の幅を広げる。
- ・ 入ってくる水の量を調節する。
- ・ 下水道
- ・ 危険な場所と安全な場所を知らせる。

水害からわたしたちの暮らしを守るために、だれがどのような取り組みをしているのか調べよう。